

一般質問

ズバリ 市政を問う

本定例会での一般質問は、6月8日から9日までの2日間で行われ、10人の議員が質問しました。その質問と答弁の要旨をお知らせします。
掲載は質問順としています。

炊き出し訓練が必要では

弥吉治一郎議員

答 前向きに検討する

問 熊本で地震による大災害が発生した。災害時の炊き出しも考慮し、小学校給食は直営で残すべきではないか。

例が施行され、2年が経過した。条例は機能しているのか。

市長 将来的には民間委託を考えている。災害における炊き出しと小学校給食の運営方法は別問題として結論を出したい。

市長 条例に基づく指導により、4棟の老朽家屋が解体された。

市長 将来的には民間委託を考えている。災害における炊き出しと小学校給食の運営方法は別問題として結論を出したい。

地域支援課長 29棟の家屋を調査し、危険家屋と認定したのは20棟。このうち12棟は条例に基づく指導、勧告を行ったが、残りは相続権者の特定に

問 学校の長期休暇を利用して大量炊飯が可能な給食室で調理し、被災者への配食は校区の役員等で行うなどの訓練に取り組むことで、災害時に迅速な対応ができるのでは。

市長 今後、防災訓練を計画する中で前向きに検討する。

周住住民の生活環境の保全、防犯の観点からも市が代執行すべきだ。

問 空家対策特別措置法では命令に従わない場合、解体は市が代執行できるとなっている。

市の代執行で老朽家屋の解体促進を要望

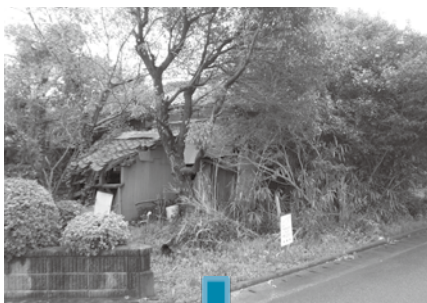
時間を要している。

問 空家対策特別措置法

では命令に従わない場合、解体は市が代執行できるとなっている。

空き家適正管理条例は機能しているのか

問 空き家の適正管理条例



老朽危険家屋(解体前)



解体後